

第IV章 合意形成や情報発信に向けた取組




第IV章 合意形成や情報発信に向けた取組

1. これまでの取組と今後の展開

過年度の取組を踏まえた今後の展開を以下に整理した。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
検討 ステージ	行程計画（案） 作成	計画内容の具体化に向けた取組		
ターゲット・目的等	県民・市民へ中間取りまとめの内容を周知	計画づくりスタート） （戦略検討）	計画づくりに ついて 地権者・市民の意見聴取、気運醸成	計画づくりに ついて 地権者・市民の意見聴取、気運醸成
合意形成 意見聴取	地権者の合意形成・意見聴取（地主会、若手の会、懇話会等）*宜野湾市実施			
	市民の合意形成・意見聴取（NBミーティング、座談会、まち歩き等）*宜野湾市実施			
			ワークショップ	
情報発信	ホームページ（HP）の公開（適宜更新）			
	プロモーションビデオ（PV）放映			
	ワークショップ			
	県民フォーラム			
プロモーション ツールの制作	HP立上げ		HPリニューアル	HPコンテンツの作成
			英語パンフ作成	原風景模型 パンフ作成
			パネル作成	
	地形模型		地層模型	原風景模型
	PV制作	将来イメージを討議するためのVRを活用したPV制作		
	・「全体計画の中間取りまとめ」PV-普天間未来予想図	・中央エリア ⇒世界に誇れる環境づくり *地権者、市民等向け	・北側エリア ⇒歴史文化とコミュニティ *地権者、市民等向け	・南側エリア ⇒シマの基層と公園都市 *地権者、市民等向け

図IV-1 これまでの取組と今後の展開（1/2）

東京五輪  本土復帰 50年  大阪万博 

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2 (2020)年度 令和4 (2022)年度 令和7 (2025)年度	
計画内容の具体化に向けた取組				
		配置方針の更新	素案策定	
計画づくりに ついて 地権者・市民の 意見聴取、気運 醸成	子どもたちや地権 者・県民・市民に体 験を通じて計画づ くりの周知、意見聴 取、気運醸成	県外へ向けて、体験 を通じて、計画づく りを広く周知、意見 聴取、気運醸成	揺るぎないまちづくりの考え方の 確立と周知、意見聴取、気運醸成 若い世代等、将来の普天間飛行場 跡地や沖縄の将来を担う人材の育 成	
(地主会、若手の会、懇話会等) *宜野湾市実施				
(NBミーティング、座談会、まち歩き等) *宜野湾市実施				
絵画コンクール			若い世代の意識醸成	
ホームページ (HP) の公開 (適宜更新)				
プロモーションビデオ (PV) 放映				
	体験イベント ・図書館イベント ・大型展示会へ の出展	体験イベント ・霞が関イベン トへの出展	PRキャラバン 県民フォーラム 体験イベント 50年イベント 万博イベント 若い世代を対象とし たアイデアコンペ	
HPコンテンツの作成				
	シアター映像 VRによるまちまーい パネル作成 航空写真マット 作成 パンフ作成	シアター映像 VRによるまちまーい 普天間飛行場と山 手線の大きさ比較 航空写真マット作成	拡散型コンテ ンツ作成 公開 素案 パンフ作成 展示型コン テンツ作成	
将来イメージを討議するためのVRを活用したPV制作				
<ul style="list-style-type: none"> ・緑の中の まちづくり ⇒緑の価値と街 への期待 *地権者、市民等 向け 	<ul style="list-style-type: none"> ・普天間飛行場の現状 と歴史 ・跡地利用による効果 ・緑の中のまちづくり ・暮らし方イメージ *県民、市民等向け (特に小中学生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの中のまちづ くりの揺るぎない方向 性 ⇒シマの基層を最大限 活用 ⇒公民の境なくまち全 体に緑を創造 ⇒最先端技術を導入 *県民、市民等向け 	<ul style="list-style-type: none"> ・本土復帰 50 年 に向けた普天間 飛行場跡地利用 計画素案 PV の 作成 *県民、市民等向 け 	<ul style="list-style-type: none"> ・素案の 更新 *国内 外、県 民、市 民等向 け

図IV-2 これまでの取組と今後の展開 (2/2)

2. 跡地利用計画についてのイベント

普天間未来予想図体験イベントは、国の府省庁が開催する「こども霞が関見学デー」に、内閣府の催事の一環として出展し、普天間飛行場跡地利用についての合意形成・情報発信を行った。

(1) こども霞が関見学デー

「こども霞が関見学デー」は、子どもたちを対象に業務説明や職場見学等を行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会として、国の府省庁が平成12年から開催している。

(1) - 1 こども霞が関見学デープログラム概要

- ・府省庁の連携により、200以上のプログラムを展開
- ・内閣府実施プログラム例：

- 拉致問題を知って、考え、声のメッセージを送ろう！
- すごい！楽しい！サイエンス、イノベーション！
- 沖縄を感じよう！

（「普天間未来予想図体験イベント」は、内閣府の14のプログラムの内「沖縄を感じよう！」の一部としてブースを出展）

(2) 普天間未来予想図体験イベント

(2) - 1 合意形成・情報発信についての基本認識

これまでは、県民・市民を主たるターゲットとして、合意形成・情報発信を展開しており、昨年度の体験型イベントにおいては、跡地利用に対する認知度の低さを認識した。

(2) - 2 普天間未来予想図体験イベントの目的

普天間飛行場の未来予想図を、本土復帰 50 年の節目（令和 4 年）に県内外に効果的に発信するため、県外での情報発信を展開し、ターゲット拡張を始動させる。

また、内閣府で開催された「こども霞が関見学デー」に出展し、初めての県外での体験イベントを実施することにより、県内はもとより、県外においても、普天間飛行場の跡地利用についての適切な情報を積極的に発信し、気運醸成を図る。

(2) - 3 開催概要

【名称】：普天間未来予想図 体験イベント

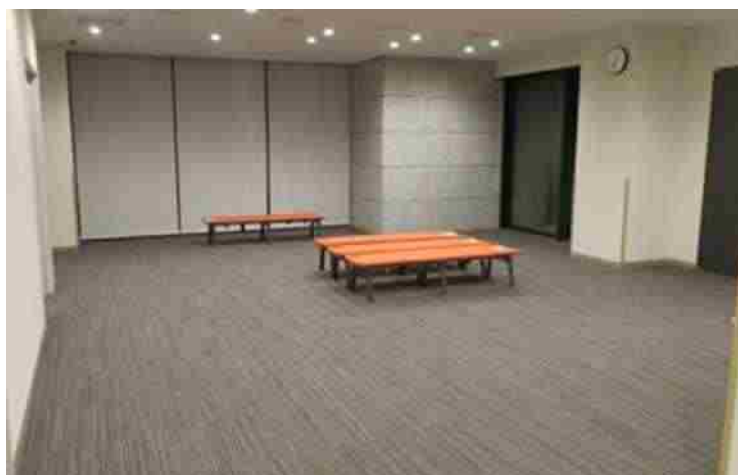
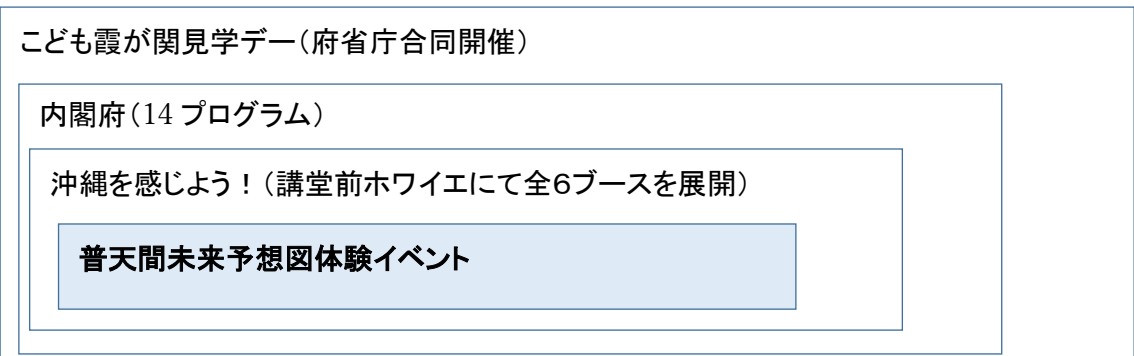
ーイメージCGで未来の沖縄のまちを歩いてみよう！ー

【日時】：令和元年8月7日（水）～8日（木） <2日間> 10：30～16：00

【場所】：内閣府 中央官庁合同庁舎 8 号館 1 階講堂前ホワイエ

（東京都千代田区永田町 1 - 6 - 1 ）

【位置づけ】：



図IV-3 館内の実施スペース（講堂前ホワイエ）

(2) - 4 展示内容

(2) - 4 - 1 展示のストーリー

普段、沖縄や普天間飛行場にあまり馴染みのない県外の人にも身近に感じてもらえるよう、東京と沖縄、山手線と普天間飛行場の比較やイメージCG体験を通じた展示内容とした

コンテンツ1 東京と沖縄をくらべてみよう！ (パネル)

自分たちが住んでいる身近な東京と普天間飛行場がある沖縄の2つを比べることで、まずは、普段あまり親しみのない沖縄の大きさと普天間飛行場の位置を理解してもらう。

「くらべてみよう！沖縄と東京」
沖縄本島と東京都の大きさを比べる



コンテンツ2 山手線の中に普天間飛行場をはめてみよう！ (パネル)

山手線の中に、普天間飛行場跡地があったら…。
普天間飛行場跡地の大きさを体験。

「東京の地図と普天間飛行場パーツ」
山手線とその中に立地する公園や主な施設をパネルにし、同縮尺の普天間飛行場のパーツを当てはめることで、普天間飛行場の大きさを実感してもらう。

Ex) 普天間飛行場は、秋葉原～四谷と同じ距離

「宜野湾市航空写真」
市街地にある普天間飛行場の航空写真を床に敷き、普天間飛行場周辺の現状を説明。

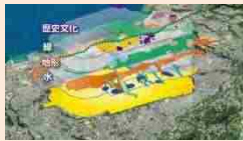


コンテンツ3 普天間飛行場跡地 過去・現在・未来 (映像)

沖縄の自然や戦前の歴史を学び、将来的には、誰もが憧れるまちになる可能性があることを伝える。



宜野湾の歴史



シマの基層



経済効果



未来のまち

コンテンツ4 イメージCGで未来の沖縄のまちを歩いてみよう！ (イメージCG)

イメージCGでまち歩きを体験できるコーナーとし、普天間飛行場跡地の未来のまちを体験してもらう。また、跡地利用における方針を説明するポップアップにより、具体的な計画内容を知ってもらう。



筆記アンケートと未来予想図投票 (シール貼り) による意見聴取

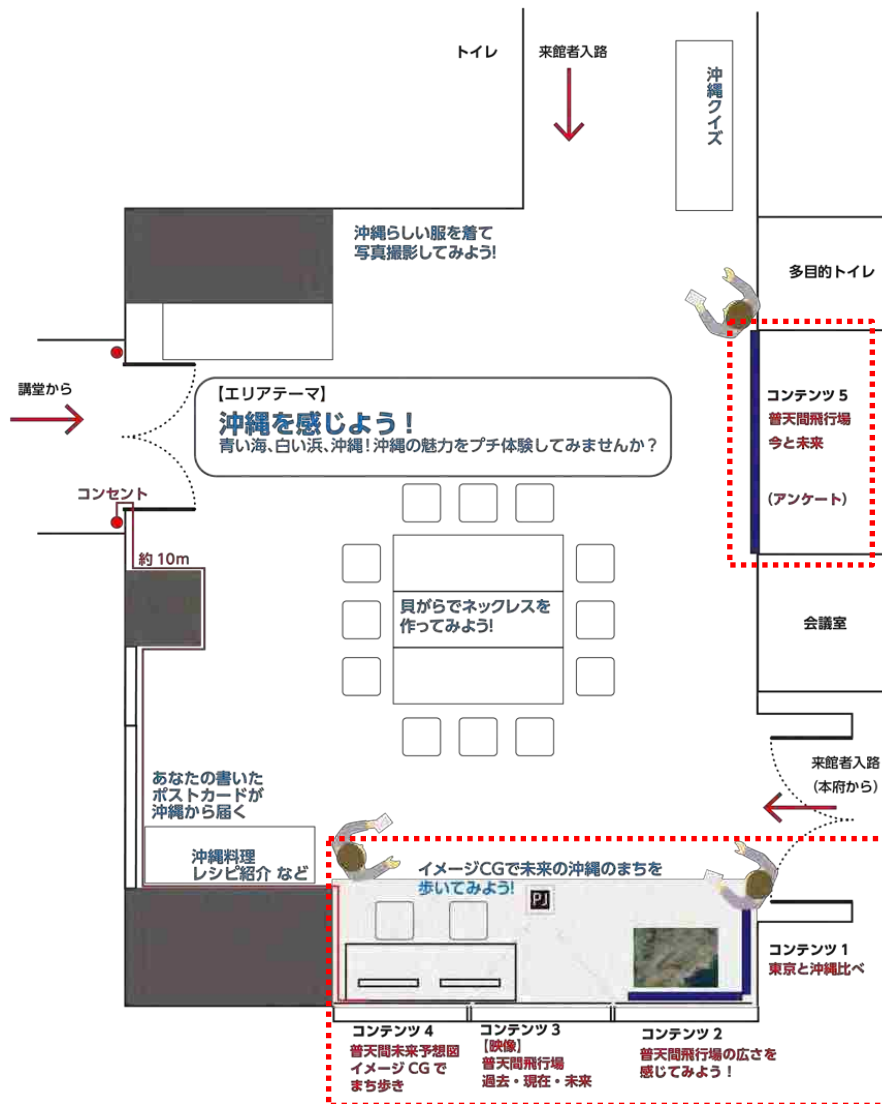
コンテンツ5 沖縄の未来で行ってみたいところは？ (パネル)

映像やイメージCGを通して、子どもたちが期待する普天間飛行場の未来のまちとはどんなところなのか、意見を聴取し、計画の参考とする。

「世界に誇れる緑の中のまちづくり」
 普天間未来予想図のイメージCGから“暮らしたくなるまち”“働きたくなるまち”“訪れたくなるまち”のそれぞれのシーンを提示。行ってみたいところにシールを貼付することで、意見を聴取する。

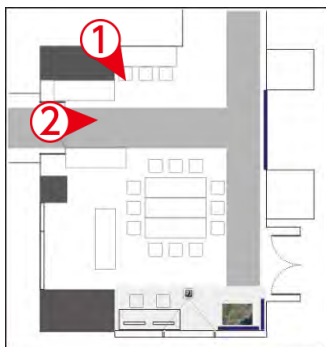


(2) - 4 - 2 ブースレイアウト (平面図)



図IV-4 イベント ブースレイアウト

(2) - 4 - 3 ブースレイアウト (イメージパース)



図IV-5 イベントブースパース

(2) - 5 周知方法

(2) - 5 - 1 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課による周知



図Ⅳ-6 配布チラシ



図Ⅳ-7 内閣府HP

(3) 開催報告

(3) - 1 来場者数及び実施の様子

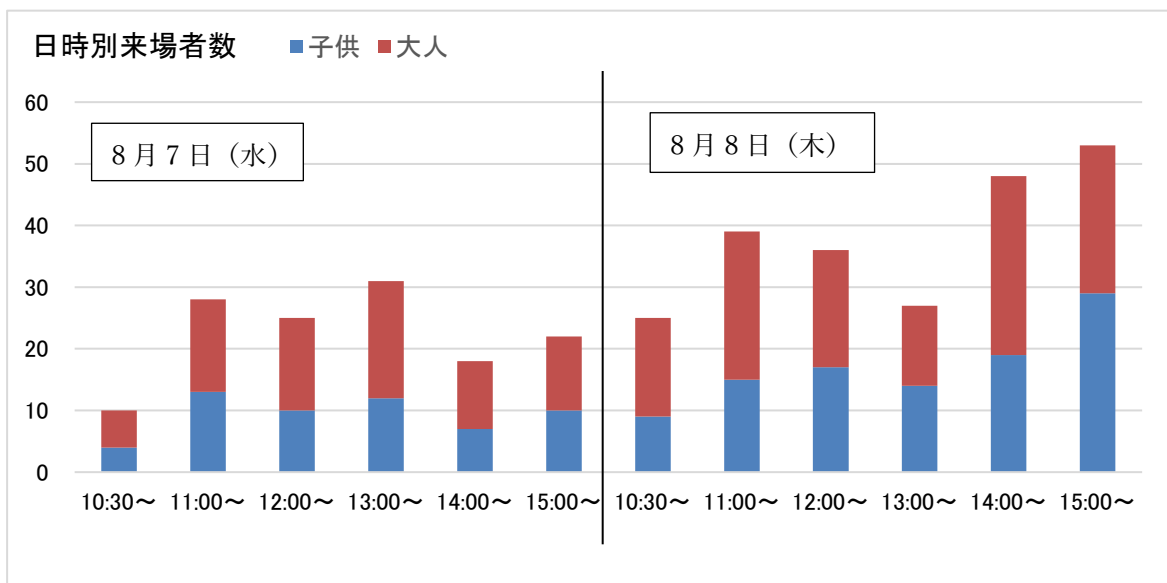
2日間の当ブース来場者数は、合計 362 名であった。子ども対象のイベントであったが、保護者・引率者・内閣府関係者等の大人の割合が多かった。

筆記アンケートについては、2日間で 148 票となっており、回収率約 40%を占めた。昨年度出展した「沖縄県トータルリビングショウ」のアンケート回収率約 7%と比較すると、高い回収率であった。

これは、子どもがイメージCG等を体験している間に、大人に普天間飛行場跡地及び展示の説明をし、アンケートの記入をお願いしたことが、多くの方がアンケートに回答した要因であると考えられる。

【イベント 日別・時間別来場者数及び筆記アンケート回収状況】

日程	2019.8.7(水)			2019.8.8(木)			合計		
	晴れ			晴れ			晴れ		
	子供	大人	計	子供	大人	計	子供	大人	計
10:30～	4	6	10	9	16	25	13	22	35
11:00～	13	15	28	15	24	39	28	39	67
12:00～	10	15	25	17	19	36	27	34	61
13:00～	12	19	31	14	13	27	26	32	58
14:00～	7	11	18	19	29	48	26	40	66
15:00～	10	12	22	29	24	53	39	36	75
ブース来場者	56	78	134	103	125	228	159	203	362
内閣府への 来場者	251	226	477	409	319	728	660	545	1,205
来場率			28%			31%			30%
アンケート数			50			98			148



会場の様子

① 1日目：令和元年8月7日（水）



② 2日目：令和元年8月8日（木）

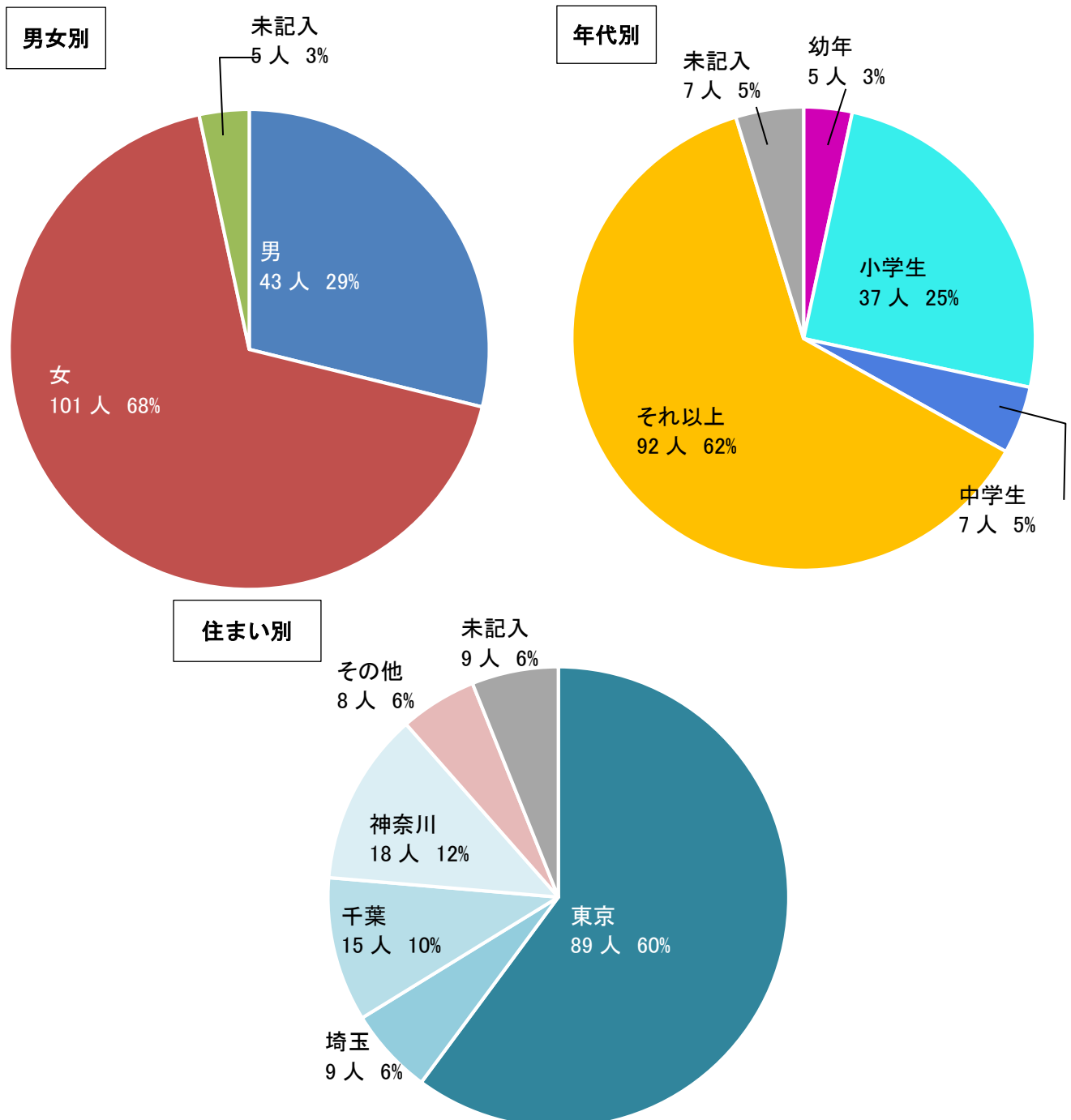


(3) - 2 アンケート結果

夏休みの子どもを対象としたイベントであったため、小学生と母親の組み合わせでの来訪が多く、主に保護者にアンケートの記入をお願いしたことから、女性の大人に多く回答をもらった。

また、霞が関の中央官庁が一斉に開催したイベントであること、平日開催であることなどの要因から、内閣府関係者などとみられる来場者も多く、沖縄の基地問題に関心を持つ人も多数見られた。

住まいに関しては、霞が関という立地上、来場者の約60%が東京都であり、埼玉県・千葉県・神奈川県を南関東を加えると約90%となった。



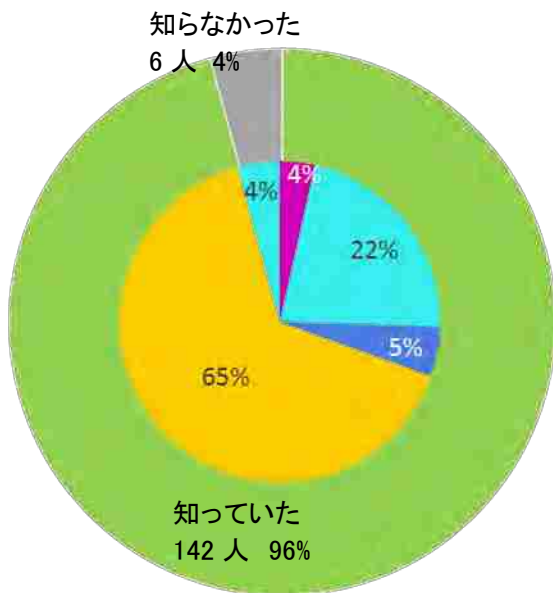
認知度についての設問

問1・2において、沖縄の米軍基地、普天間飛行場についての認知度を調査した。沖縄の米軍基地や普天間飛行場については90%以上の人を知っていたが、跡地の計画が検討されていることを知っている人は約15%以下であり、認知度の低さが伺えた。

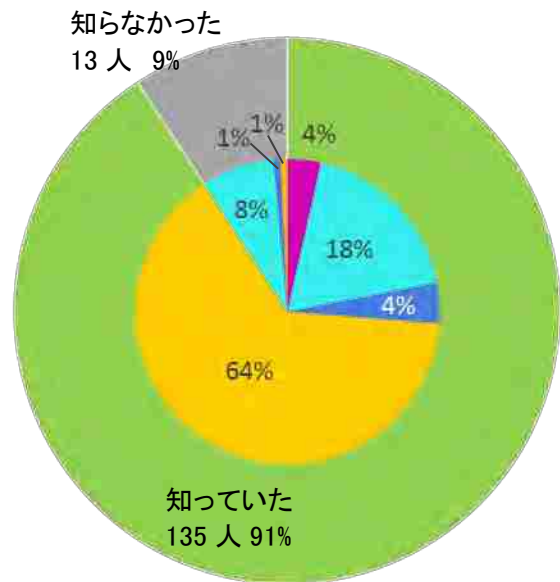
昨年度の「沖縄県トータルリビングショウ」では、約半数の人が跡地の計画が検討されていることを知っていたことから、県内外においては、跡地利用計画の認知度の格差があることが分かる。

このことから、県外における跡地利用計画の情報発信をより一層強化する必要があると考えられる。

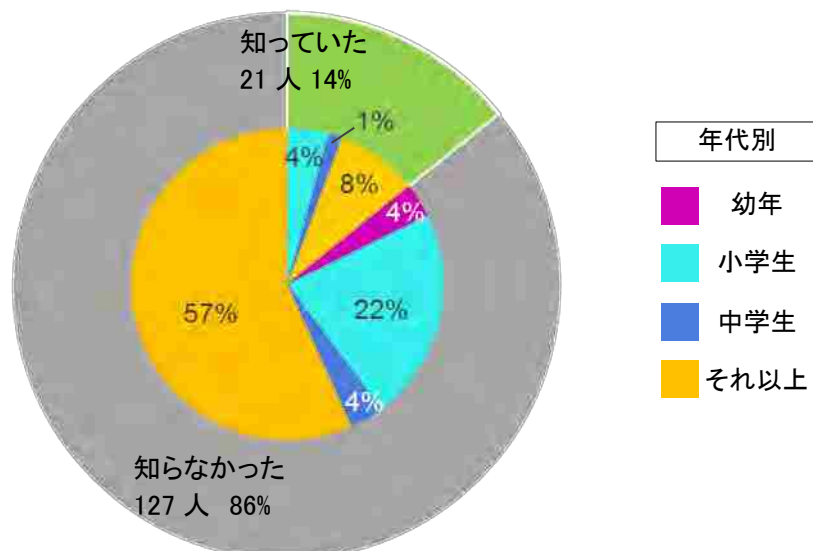
問1 沖縄に米軍基地があることを知っていましたか？



問2 普天間飛行場を知っていましたか？



問3 普天間飛行場の未来のまちを検討していること知っていましたか？



年代別

- 幼年
- 小学生
- 中学生
- それ以上

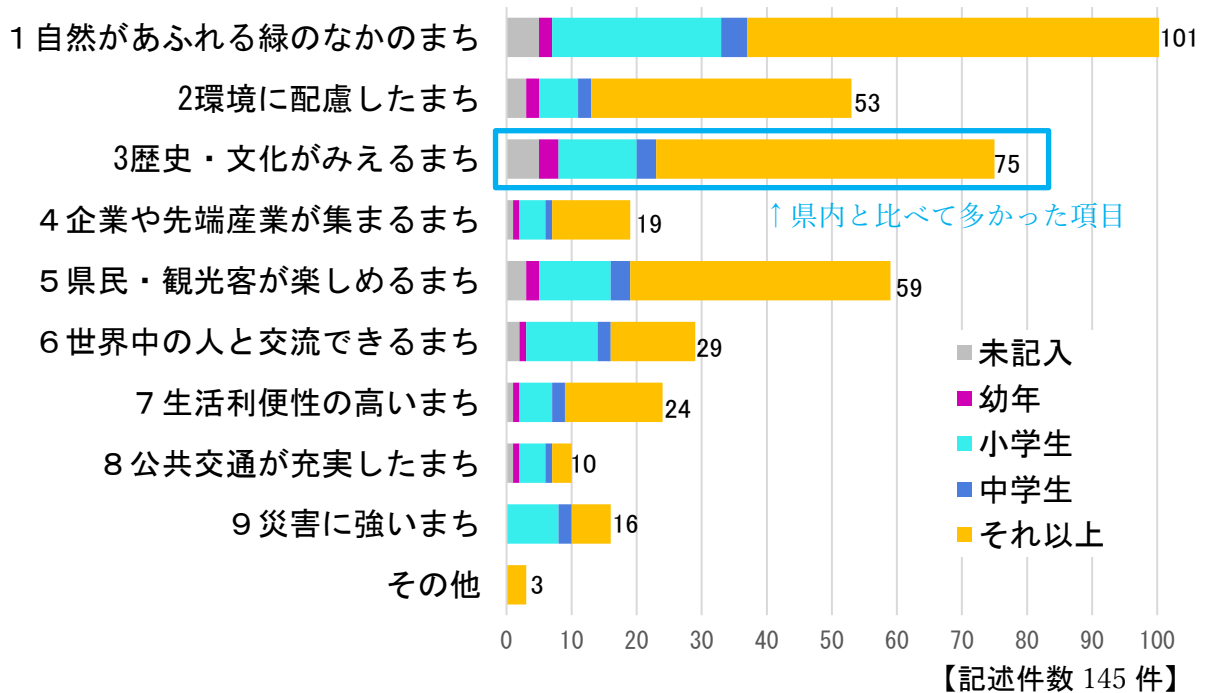
普天間飛行場跡地に求めるもの

問4 普天間飛行場跡地がどんなまちになったらいいと思いますか？（3つまで選択）

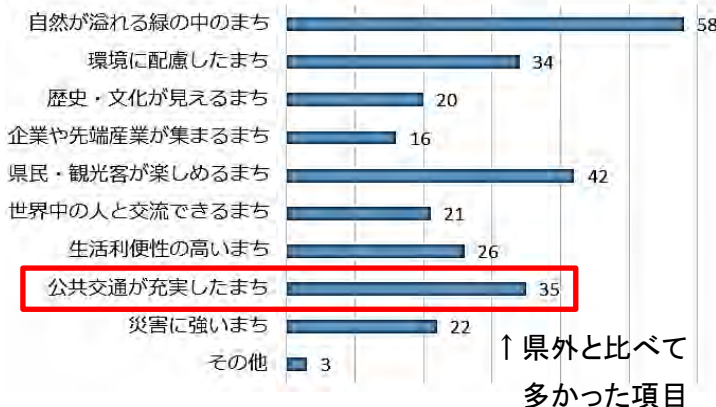
「自然が溢れる緑の中のまち」が最も多く、次いで「歴史・文化がみえるまち」「県民・観光客が楽しめるまち」となっている。

昨年度の「沖縄県トータルリビングショウ」での回答と比較すると、県内外ともに「緑の中のまち」「楽しめるまち」に関心が高いことが分かる。対して、「歴史・文化」「公共交通」について、県内外での関心の差が表れたが、県外の方は、沖縄の歴史・文化を求め、県内の方は、充実した公共交通を求めていることから、普段身の回りにないものを求めていることが分かる。

その他の記述としては、「自衛隊の基地として利用してほしい」「沖縄の経済発展のために利用してほしい」「公共施設、学校、大人用商業施設として利用してほしい」などの意見があった。



【参考】昨年度の沖縄県トータルリビングショウでのアンケート結果



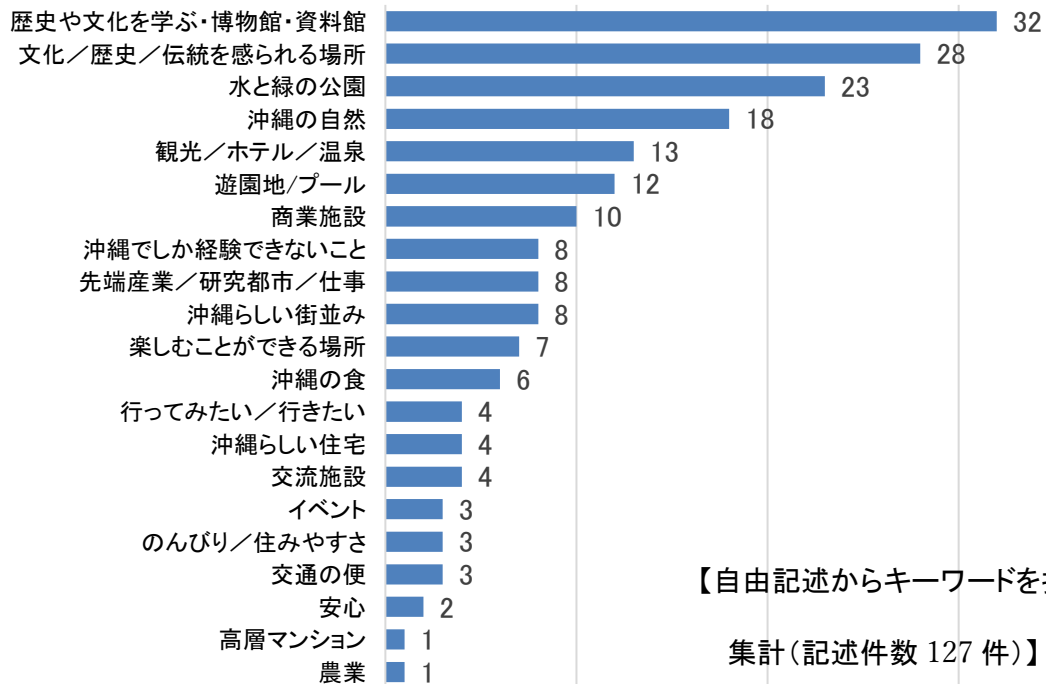
県外と県内の比較



問5 普天間飛行場跡地の未来に何があったら行ってみたいですか？（自由記述）

回答数の約半数（127件中60件）が、「沖縄の歴史や文化」について回答していることから、問4と同様に、県外の人にとっては、沖縄の歴史・文化に対する関心が高いことが分かる。

水と緑、ホテル、遊園地等のキーワードが多くあることから、歴史・文化と共に、沖縄の自然や楽しめる場所についての関心が高いことを示す結果となった。



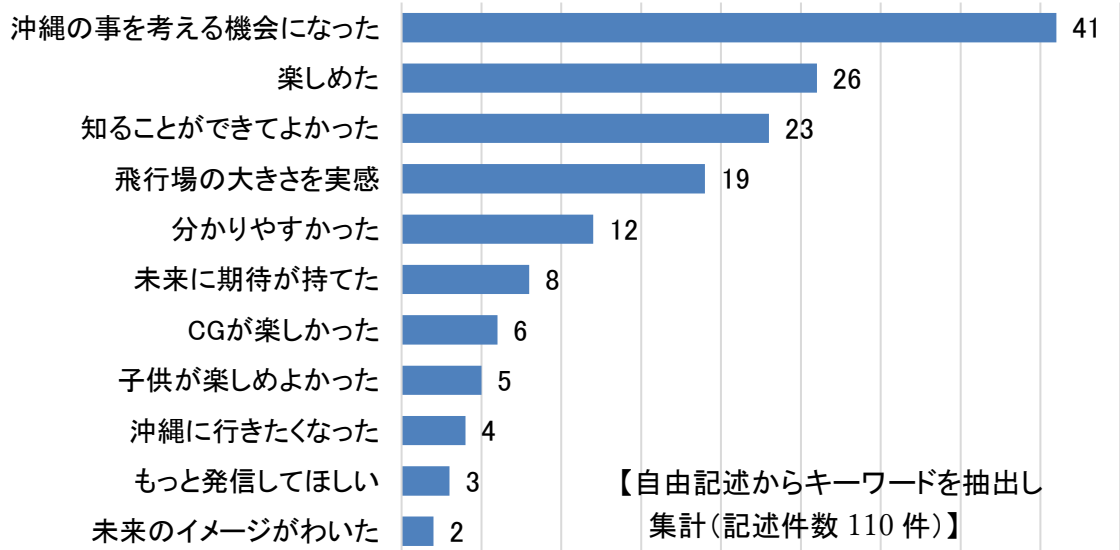
【特徴のあった意見】

- 何か発信性のあるまちに魅力を感じます。海外の人からも興味を持たれるまちとして、スポーツと文化と企業と教育が混ざっているといいです。
- 沖縄の文化、ウチナーグチや伝承の語りなどが聞ける文化施設。循環型の人が生きて経済が回る仕組みがどうなっていくか楽しみです。
- 自然を利用した住みやすい町で海から近いことを利用したレストランがある。また、沖縄らしさ（沖縄の伝統的な建物やシーサーなどの飾りがある）が活かされたまち
- 普天間飛行場跡地をそのまま残して（しばらくの間）体感できるとよいと思いました。
- 過去・現在・未来が楽しめる所
- 沖縄らしい自然にあふれながらも、何があったのか、どのような流れで現在に至るのか、そのようなものは歴史として残した方が、日本人が考える機会となって良いと思う。
- もし、沖縄に戦争の歴史がなかったら、沖縄に対するイメージはどのようなものだったろうかと時々考えます。戦争以前の沖縄が見たいです。

普天間未来予想図についての感想

問 6 今回のイベントの感想をご自由におかきください。(自由記述)

「沖縄のことを考える機会になった」「知ることができてよかった」「飛行場の大きさを実感した」などの意見が多かったことから、普天間飛行場や跡地利用についての興味・関心を引くきっかけになったことが伺える。



【特徴のあった意見】

- 遠い県のことにしてしまいがちで、知らないことばかりだったので、ためになりました。今後、目も耳も向けていきたいと思いました。
- 普天間返還についてはニュースで知っていても、その後どうしていくかについて問題があることを知らなかったです。もし、整備されたら行ってみたいと思いました。
- 私たちはニュースで発信されていることしか見聞きしないので、このようなイベントで実際の現状を知る事ができる（実際の普天間飛行場の大きさ）機会はとても良かった。
- 同じ日本の中のことですが、TVの中で起きていることのような感じであまり身近に考えることがないので、今回少しでも気にかけることができ、自分にも娘にも良い機会だったなと思います。
- 沖縄は今後ますます重要なメッセージのある場として存在感が増すと思いました。
- 基地の分布地図などがあると役立つのですが。
- 選挙では7割が辺野古沖の基地移設に反対していることが示されました。普天間基地が県民の為の場になることは良いことだと思いますが、辺野古基地のことがはっきり分かりません。7割もが反対している辺野古基地の工事を政府が強制的に進める意味が分かりません。辺野古基地に関するブースも作っていただきたい。政府こそ沖縄の「民意」を感じるべきだと思います。

沖縄の未来で行ってみたいところ

「コンテンツ5 沖縄の未来で行ってみたいところは？」で実施した、映像やイメージCGを通して期待する沖縄の未来のまちとはどんなところかのシール貼付数を集計した。

記述式アンケートの結果と比較して、イメージ画像付きアンケートでは、「住宅」「公園」「展望タワー」などの関心が高かった。具体的なイメージがあることで興味の方向が変わることが伺える。

	イメージのシーン	7日	8日	合計
●暮らしたくなるまち	海が見える高層マンション	12	7	19
	風通しがよい住宅	10	13	23
	沖縄らしい家	9	15	24
	緑の中の学校	4	5	9
●働きたくなるまち	最先端のオフィス	6	6	12
	研究施設	5	4	9
●訪れたくなるまち	沖縄の文化を体験できる公園	5	15	20
	沖縄の歴史を感じる街なみ	11	6	17
	昔からのわき水を活かした公園	8	9	17
	アリーナやスタジアムのイベント	7	5	12
	水と緑の公園	14	13	27
	まちを見わたせる展望タワー	10	14	24
	青空マーケット	2	4	6
	みんなが集まる公共施設	3	12	15
普天間飛行場について学べた		9	18	27
普天間飛行場について分からなかった		0	0	0

イベント終了時のシール添付状況



アンケート用紙

普天間未来予想図

体験イベント

飛行場跡地

アンケート

未来のまちについて考えよう!!

1) おきなわけん べいてんきち 沖縄県に米軍基地があることを知っていましたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. その他 ()

2) ふてんま 普天間飛行場を知っていましたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. その他 ()

3) ふてんま あとち 普天間飛行場跡地の未来のまちを検討していることを知っていましたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. その他 ()

4) ふてんま あとち 普天間飛行場跡地の未来のまちがどんなまちになったらいいと思いますか？
 いいと思うものに○をつけてください。(3つまで) (お父さんお母さんといっしょに考えてみてください。)

1. 自然があふれる緑のなかのまち	2. <small>かんきょう はいりよ</small> 環境に配慮したまち
3. 歴史・文化がみえるまち	4. <small>きぎょう せんたんさんぎょう</small> 企業や先端産業が集まるまち
5. 県民・観光客が楽しめるまち	6. 世界中の人と交流できるまち
7. <small>りべんせい</small> 生活利便性の高いまち	8. <small>こうつう じゅうじつ</small> 公共交通が充実したまち
9. <small>さいがい</small> 災害に強いまち	
10. その他 ()	

5) ふてんま あとち 普天間飛行場跡地の未来のまちに何があると行ってみたいと思いますか？

6) 今回のイベントの感想をご自由におかきください。

■ あなたについて教えてください。

1) せいべつ 性別は？ 男 ・ 女

2) ねんれい 年齢は？ ようちえん(ほいくえん)・小学校()年生・中学校()年生・それ以上

3) お住まい お住まいは？ とうきょうと 東京都・さいたまけん 埼玉県・ちばけん 千葉県・かながわけん 神奈川県・おきなわけん 沖縄県・その他(都道府県名:)

(4) まとめと今後の課題

(4) - 1 来場者の反応

- ・沖縄県と宜野湾市が普天間飛行場跡地利用に向けた計画づくりに取り組んでいることに多くの方が関心を示した。
- ・東京と沖縄の比較により、感覚的に沖縄や普天間飛行場について理解できたため、今後は沖縄や普天間飛行場の情報に対してより目を向けるようになるとの反応も伺えた。
- ・知らなかった、知って良かったという発言も多く、今後の普天間飛行場に関するニュースの見方が変わったという方もいた。

(4) - 2 意見聴取について

- ・子どもがCGイメージ体験をしている間に、随行の大人が展示を見たりアンケートに答えたりしてくれた。記入者の多くが自由記述を記入しており、跡地への関心を引くことができたと考えられる。
- ・初めて県外で開催する体験イベントであったが、自然・緑や歴史・文化、楽しめる場所についての関心が高く、特に歴史・文化については、県内と比較すると県外では高い関心があることが分かった。

(4) - 3 内容について

- ・CGイメージのまちあるき体験は、子供たちに人気であったが、隣接するブースの「貝殻でネックレスを作ってみよう！」を目当てに訪れていた子どもがより多かったため、子どもに対しては、集客の観点からすると「体験」や「ノベルティグッズ」が有効であることが分かった。
- ・宜野湾市の航空写真マットや山手線と普天間飛行場の大きさ比べを体験した人は、「ニュースでは何となく耳にしていたことが現実ではこんな状態になっているのか」「まったく知らなかった」など、今回のイベントに参加することで、普天間飛行場について新たな見方ができたことを発言した方も多くいた。
- ・普天間飛行場の過去・現在・未来の映像でシマの基層を見ている方からは、いままでイメージしていたこと以外の沖縄があることの声も聞かれた。
- ・ミニシーサーのペーパークラフトは、子どもや女性たちに人気があった。アンケート1件に対し、複数の子どもがいる場合は子ども数を渡していたこともあり、アンケートの参加が促進されたと考えられる。200枚程用意していたペーパークラフトは、完全配布した。

(4) - 4 今後の検討課題

普天間飛行場跡地利用計画についての情報発信が県外においても希薄であることはアンケート結果で明らかであるため、今後さらに県外に向けた情報発信を行っていく必要がある。

ニュースや新聞記事等の情報ではなく、イベントで体験する事により、感覚的に沖縄や普天間飛行場跡地を理解することで、今後、沖縄や普天間飛行場に関する情報に自発的に関心を寄せるきっかけになるという声もあったことから、県外において体験イベントを展開することは、有効な手段であると考えられる。

今回も10代～20代の若い世代を対象としたイベントではなかったことから、今後は若い世代を対象とした情報発信を検討する必要がある。

(5) 展示物

(5) - 1 展示コンテンツ

コンテンツ 1

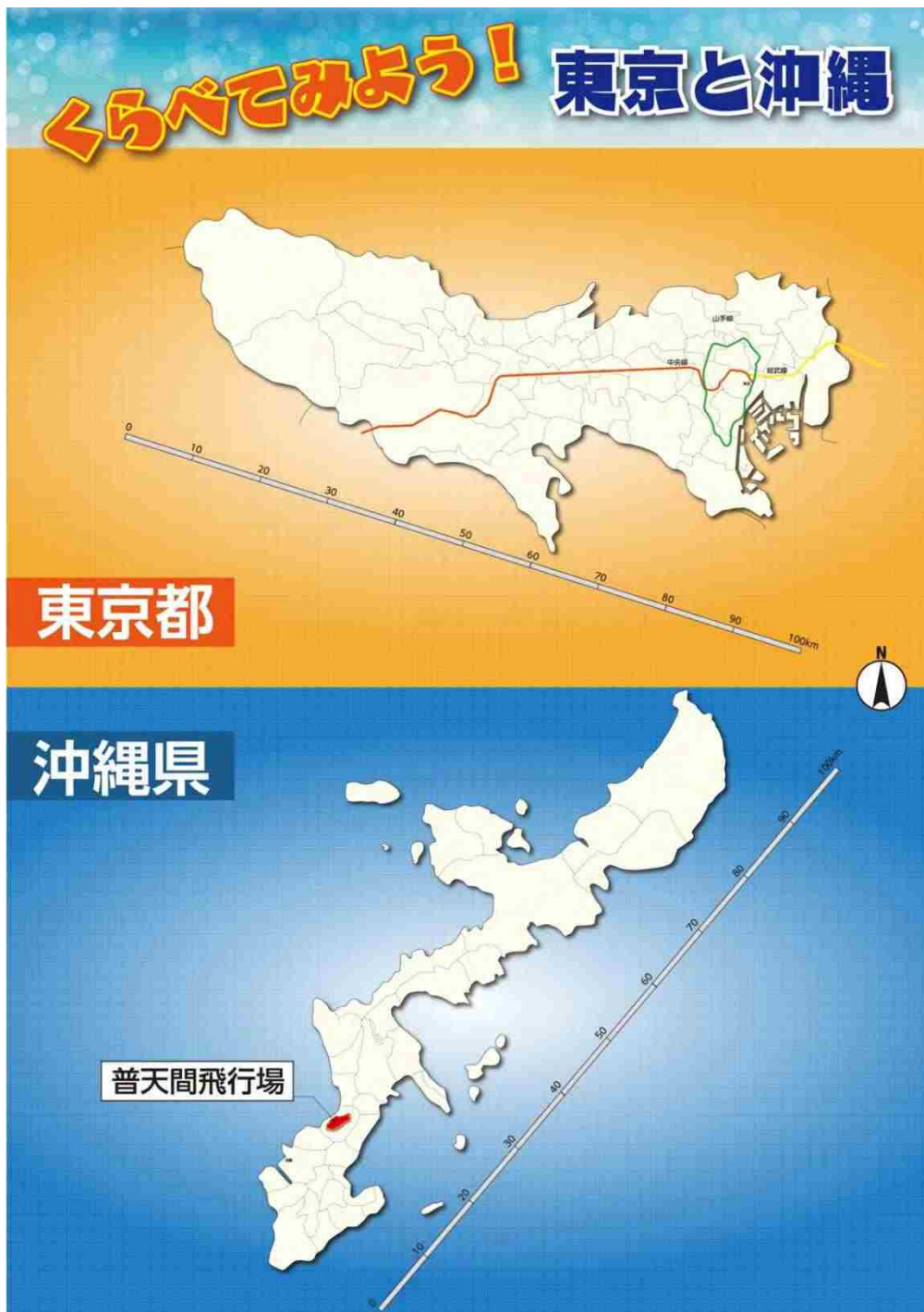
東京と沖縄をくらべてみよう！

自分たちが住んでいる身近な東京と普天間飛行場がある沖縄。2つを比べることで、普天間飛行場に関心を湧かせる第一歩とする。

コーナー看板



①パネル (実寸サイズ : A0版 841×1189mm)



コンテンツ2

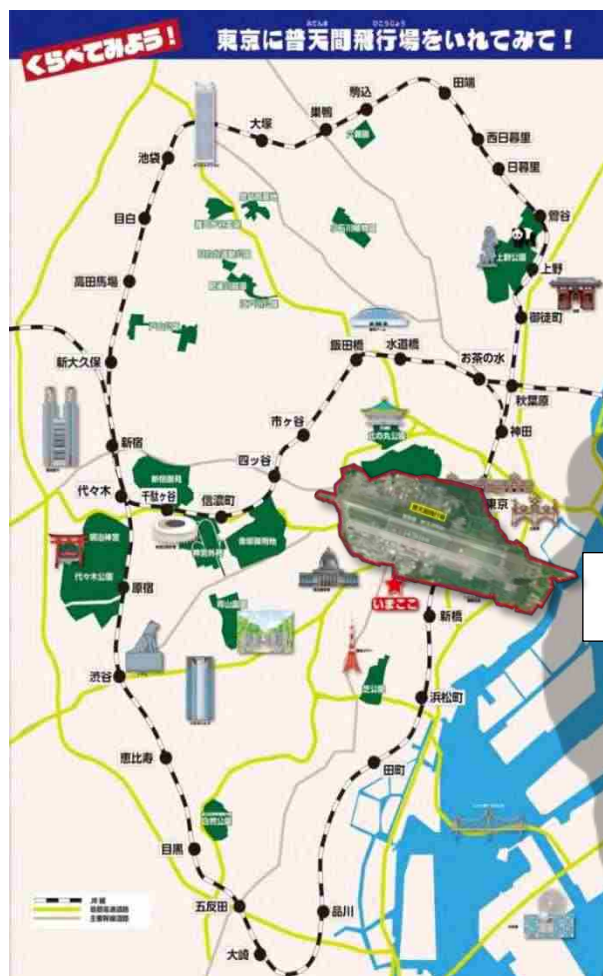
山手線の中に普天間飛行場をはめてみよう！

山手線の中に、普天間飛行場跡地があったら…。
普天間飛行場跡地の大きさを体験。

コーナー看板



組み合わせ展示イメージ(各パーツ次ページ以降)



手で持って動かせる
普天間飛行場のパーツ

宜野湾市航空写真マツト
(ターボリン幕)



②宜野湾市航空写真マット（幅 1930×高さ 1420mm ターポリン幕）



③山手線圏内図と同宿尺の普天間飛行場パーツ 2枚

（幅 550×高さ 215mm スチレンボード貼り 型抜き）



コンテンツ3

【映像】 普天間飛行場 過去・現在・未来（7分）

東京の学校では教えていないであろう沖縄の自然や戦前の歴史を学び、将来的には、誰もが憧れるまちになる可能性があることを伝える。

【映像台本】

cut	time	映像	ナレーション	出典 PV
01	4秒 /4秒			
02	17秒 /20秒		この地には、かつて集落がありました。緑の森があり、立派な琉球松が並ぶ並松街道が通り、家々が軒を連ね、人々の普通の暮らしがありました。	2014_No4 2015_No3
03	4秒 /24秒		役場や国民学校があり、生活の中心でした。	
04	6秒 /30秒		闘牛場や馬場もありました。	
05	10秒 /40秒		森の中には、先祖に祈るウタキや、産湯の水、祝い水、お清めの水を汲んだカーがありました。	
06	10秒 /50秒		これら歴史的文化遺産は、みんなの精神（こころ）のよりどころであり、コミュニティの中心でした。	
07	9秒 /59秒		米軍の基地になり、集落や暮らしは消えてしまいました。	
08	9秒 /1分8秒		戦後、基地の周りに移り住むことを余儀なくされ、いびつな都市になっています。	2014_No4

cut	time	映像	ナレーション	出典 PV
09	12 秒 /1 分 20 秒		一方、基地の中には、時間が止まったように、戦前の姿のままの森や、かつての暮らしの痕跡がまだ残されていたのです。	
10	2 秒 /1 分 22 秒			
11	16 秒 /1 分 38 秒		普天間飛行場の地下には、宜野湾に降る ^{あまみず} 雨水が、琉球石灰岩層でろ過され、大山などから湧き出て西海岸へと流れる、水の道があります。	
12	7 秒 /1 分 45 秒		かつての宜野湾や神山の集落には、多くの湧水（カー）がありました。	
13	15 秒 /2 分 00 秒		生活用水としてはもとより、産湯や元旦に邪気を祓う若水などにも使われ、水がわき出るところは、暮らしの安寧を祈る場所として、集落には欠かせないものでした。	
14	7 秒 /2 分 07 秒		飛行場の滑走路あたりは、平らに見えますが、実際は起伏があり	
15	12 秒 /2 分 19 秒		北風を遮り冬は暖かく、夏は海風を取り込み、緑の空間を上手に配置することで、風の流れをつくるのが出来ます。	
16	10 秒 /2 分 29 秒		沖縄県と宜野湾市は、平成 24 年度に普天間飛行場の跡地利用の全体計画の屋間取りまとめを策定し、	
17	16 秒 /2 分 45 秒		基地が返還され、まちがつながり、跡地を流れる地下水、地形、跡地に残る緑といった自然環境と歴史文化を活かした緑の中のまちづくりを提案しています。	

cut	time	映像	ナレーション	出典 PV
18	3 秒 /2 分 48 秒			
19	10 秒 /2 分 58 秒		普天間飛行場跡地がまちになること。それは、沖縄が発展する大きなチャンスです。	
20	12 秒 /3 分 10 秒		普天間飛行場跡地は、今後、返還が予定されている中南部の基地の中央に位置しています。	
21	10 秒 /3 分 20 秒		普天間飛行場跡地が、まちになると、これまで分断されていた中南部の 100 万都市圏がひとつにまとまります。	
22	12 秒 /3 分 32 秒		2015 年 1 月に沖縄県が発表した予想によると、周辺の跡地利用とも連動して、大きな経済効果を生み出します。	
23	13 秒 /3 分 45 秒		これからも、普天間飛行場跡地利用の計画づくりに取り組んで参ります。普天間未来予想図は、みなさんのご意見でどんどん進化していきます。	
24	13 秒 /3 分 58 秒		これから、みなさんと一緒に、普天間飛行場の未来のまちを想像してみましょう。	2018 年 シアター 映像から
25	13 秒 /4 分 11 秒		ここでは、地形や樹木、地下に流れている水、暮らしていた人たちの生活や知恵を活かした新しいまちをイメージしてみました。	
26	7 秒 /4 分 18 秒		タワーに登ってみましょう。展望台から、西海岸が見えてきました。	
27	9 秒 /4 分 27 秒		麓には池のある大きな公園。世界中から、たくさんの人たちが集まってきています。	

cut	time	映像	ナレーション	出典 PV
28	3秒 /4分30秒		ドームが見えてきました。	
29	5秒 /4分35秒		多くの人が集い 楽しそうにおしゃべりしています。	
30	4秒 /4分39秒		広場の水上ステージ	
31	7秒 /4分46秒		となりでは青空マーケットが開かれています。	
32	9秒 /4分55秒		ここは、 昔、琉球王国の王様も通った 琉球松の並木道をイメージしています。	
33	6秒 /5分01秒		歴史公園があります。 沖縄の文化を体験できます。	
34	12秒 /5分13秒		馬場公園があります。 昔このあたりにあった集落では、馬 を競わせたり、闘牛をしたり、そんな 風景をイメージした公園です。	
35	6秒 /5分19秒		地下の水の道にそって、小川が流 れています。	
36	10秒 /5分29秒		湧き水を活かした水辺の広場。 昔、集落の行事や生活で使われてい たカーを、残しています。	
37	5秒 /5分34秒		緑と水にあふれた未来のまちのイメ ージです。	

cut	time	映像	ナレーション	出典 PV
38	9 秒 /5 分 43 秒		涼しい風を送り出す木々の横には、 石垣に囲われた、戸建て住宅。	
39	4 秒 /5 分 47 秒		こちらは、集合住宅。	
40	11 秒 /5 分 59 秒		住宅街を通り抜けると広場が見えて きました。 大きな災害の時には、みんなの避難 場所にもなります。	
41	11 秒 /6 分 10 秒		心地良い風を取り込み、安全で安心 して暮らせる未来のまちのイメージ です。	
42	7 秒 /6 分 17 秒		未来のまちは、世界中から働く人が 集まって来るまち。	
43	7 秒 /6 分 24 秒		働く場所の周りにも、沢山の緑があ ります。	
44	4 秒 /6 分 28 秒		学ぶ場所を見てみましょう。	
45	6 秒 /6 分 34 秒		世界中から学生が集まっています。	
46	10 秒 / 6 分 44 秒		楽しむ場所を覗いてみましょう。 屋上のプールからは 海の眺めも楽しめそうです。	
47	16 秒 / 7 分 00 秒		世界中から人々が集まり、暮らし、 働き、学び、楽しむそんな、普天間 飛行場の未来のまち。 みなさんも、想像してみませんか。	

コンテンツ4

イメージで未来の沖縄のまちを歩いてみよう！

沖縄の新しいライフスタイルの紹介・イメージCG体験をすることで、返還後のライフスタイルを具体的にイメージしてもらう。

- ・未来の普天間飛行場跡地をイメージしたCGの中でまち歩きを体験できるコーナー（ジョイスティック操作）

コーナー看板



【コンテンツの内容】

- ① イメージCGの中から中央エリアを切り出して編集したコースを設定。5か所を目標地点として、ジョイスティック操作で視点を動かす。
- ② 目標地点を探すガイドは画面の地図と気球・宝石。
- ③ 目標地にたどり着くとアクション。
 - ③-1 子ども向け→クイズ（卓上シートに出題/回答あり）
 - ③-2 大人向け→画面に跡地利用計画の考え方等を示した説明文を表示

①コース設定



②目標を探す

地図をガイドに気球を目指して進む



近づくると宝石が出現



宝石の下までいくとアクション



③アクション クイズに答える



跡地利用計画の考え方を画面に表示



【跡地利用計画の考え方】

紹介場所/主旨	紹介文	画面
①歴史が見えるまちづくり「並松街道」	<p>普天間飛行場には、かつて琉球王国の国王が、普天満宮にお参りに通った琉球松の並木道（並松街道）がありました。この並松街道を再生するなど、昔からの沖縄の文化や歴史を感じさせるまちづくりを目指しています。</p> <p>ここでは、新しいまちの並松街道まわりをイメージしています。</p>	
②鉄道を想定したまちづくり「駅前広場」	<p>今、沖縄にはモノレールはありますが、鉄道は走っていません。未来のまちでは、みんなが便利に利用できる鉄道を通す構想があります。</p> <p>ここでは、たくさんの人でにぎわっている駅前広場をイメージしています。</p>	
③緑の中のまちづくり「大規模公園」	<p>新しいまちづくりでは、今ある緑を活かしつつ、新しい緑の空間を創りだし、緑がまちの価値や魅力を高める「緑の中のまち」を目指しています。</p> <p>ここでは、緑の中のまちづくりのシンボルとしての大規模公園をイメージしています。</p>	
④自然と歴史を活かしたまちづくり「メヌカー（湧き水）」	<p>沖縄では昔から、湧き水や洞穴など自然を生活の中に取り入れてきました。普天間飛行場内にも数多く残る自然・歴史資源を、新しいまちにも活かしていきます。</p> <p>ここでは、かつての集落にとって大切な湧き水であった「宜野湾メヌカー（湧き水）」を保全・活用した公園をイメージしています。</p>	
⑤みんなが集まり楽しむ場所づくり「交流広場」	<p>新しいまちづくりでは、まちに住む人たち、働く人たち、訪れる人たちなど、みんなが楽しく活動し、交流できる場所をたくさん創ろうと考えています。</p> <p>ここでは、人々が集まり楽しむ広場をイメージしています。</p>	

【クイズの設問と答え】

目的地にたどり着いたら、机上のクイズシートの設問を探す。
正解は、クイズシートの裏に表示。

クイズシート



【表】設問



【裏】正解

【会場内における用ノベルティ】

のぼり：2本



風船：15個



※PR用ノベルティは、
昨年度作成したものを流用

【配布物】

アンケート回答者に配布

ミニシーサーのペーパークラフト（5種：全200枚）

製造元：内閣府沖縄総合事務局 地域資源活用プログラム事業計画認定事業者



普天間未来予想図クリアファイル



同封物

- 普天間飛行場航空写真
- 普天間飛行場のこと
- 普天間飛行場 ここはどんなところ？
- 模型でわかる地形と緑を活かした集落のようす
- 模型でわかる昔の集落のようす 旧宜野湾集落
- 模型でわかる昔の集落のようす 旧神山集落
- 原風景模型パンフレット

普天間飛行場航空写真



普天間飛行場のこと

普天間飛行場のこと

普天間飛行場の歴史の経緯

1945年 4月	太平洋戦争時、米軍の沖縄上陸により沖縄戦開始
6月ごろ	米軍に土地を接収され、本土決戦に備えて普天間飛行場建設開始
6月23日	沖縄戦での組織的戦闘が終了
1962年	米軍が基地のフェンス設置開始
1972年 5月15日	沖縄の本土復帰
1978年	ハンビ一飛行場の返還に伴い、その基地機能が普天間飛行場へ移され、現在のような運用形態へ

宜野湾市の約 1/4
那覇新都心の 2.2 倍

普天間飛行場の総面積
4.763km² (476.3ha)

施設面積
■ 滑走路 1,800 ㊦

普天間飛行場 ここはどんなところ？

普天間飛行場 ここはどんなところ？

緑地
緑地は、自然環境を保全し、景観を向上させる役割を果たしています。また、雨水の浸透を促進し、水質浄化に貢献します。

水
水は、生活や農業に不可欠な資源です。普天間飛行場では、雨水の貯留と再利用システムを導入し、持続可能な水資源管理を実現しています。

風
風は、気候調節と散逸の役割を果たします。緑地や水辺は、風を緩やかにし、快適な環境を創出します。

地形
地形は、土地利用の基盤となります。普天間飛行場では、地形を活かした集落の形成を目指しています。

家
家は、コミュニティの核となります。普天間飛行場では、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

模型でわかる地形と緑を活かした集落のようす

模型でわかる地形と緑を活かした集落のようす

風から集落や畑を守っていた緑地
緑地は、風を緩やかにし、集落や畑を守っています。また、雨水の浸透を促進し、水質浄化に貢献します。

家の向きと屋敷線
家は、地形や緑地を活かして建てられています。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

模型でわかる昔の集落のようす 旧宜野湾集落

模型でわかる昔の集落のようす 旧宜野湾集落

1. 集落の概要
旧宜野湾集落は、自然環境と調和した集落です。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

2. 集落の特徴
集落は、地形や緑地を活かして建てられています。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

3. 集落の歴史
集落は、長い歴史を誇ります。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

模型でわかる昔の集落のようす 旧神山集落

模型でわかる昔の集落のようす 旧神山集落

1. 集落の概要
旧神山集落は、自然環境と調和した集落です。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

2. 集落の特徴
集落は、地形や緑地を活かして建てられています。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

3. 集落の歴史
集落は、長い歴史を誇ります。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

原風景模型パンフレット

原風景模型の解説と得られた知見

原風景模型の制作の目的
原風景模型は、地域の歴史や文化を伝える役割を果たします。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

原風景模型の制作の過程
原風景模型は、現地調査や資料収集を通じて作成されました。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。

原風景模型の制作の成果
原風景模型は、地域の歴史や文化を伝える役割を果たしました。また、伝統的な建築様式と現代の技術を融合させた家づくりを目指しています。